

令和元年度進捗評価シート
湯浅町歴史的風致維持向上計画(平成28年3月26日認定)

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1-1）	
1 歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）	
1 良好な景観の形成に関する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）	
1 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	3
2 重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業	4
3 大仙堀環境整備事業	5
4 熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業	6
5 案内板等整備事業	7
6 防災施設整備事業	8
7 湯浅駅周辺整備事業	9
8 文化財等調査事業	10
9 空き家利活用事業	11
10 文化財公開等普及啓発事業	12
11 伝統行事等継承支援事業	13
12 特産物等PR総合支援事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）	
1 文化財の保存・活用の現状と今後の方針	15
2 文化財の保存修理等	16
3 文化財の防災・防犯	17
4 埋蔵文化財の取扱い	18
⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5）	19
⑥その他（効果等）（様式1-6）	
1 観光事業の推進	20

□法定協議会等におけるコメントシート（様式2）

21

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の実現、推進に向けて、地方創生ブランド戦略推進課、教育委員会及び産業建設課が中心となり、国、県等関係機関との協議を行うとともに適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条の規定に基づき設置した推進協議会は、計画の実施に関する連絡・調整を行う。なお、必要に応じて、湯浅町都市計画審議会や湯浅町文化財保護審議会、湯浅町伝統的建造物群保存地区保存審議会、文化財所有者等と連絡調整を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地方創生ブランド戦略推進課(企画・観光・歴史まちづくり等)、教育委員会(文化財保護等)、産業建設課(都市計画・道路等)による推進体制をとっている。今年度は、これに総務広報課(防災)を加えた「歴まち庁内連絡会議」を3月6日に開催し、歴史まちづくりについて情報を交換し、次年度以降継続して定期的に開催することとした。法定協議会である「湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会」を3月3日に開催し、計画の進行管理・評価について意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

歴史的風致維持向上計画 庁内連絡会議の開催(R2. 3. 6)



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
良好な景観の形成に関する施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 [都市計画法]本計画における重点区域は、一部を除き都市計画区域に含まれており、都市計画マスタープランにおいて、豊かな自然・歴史的資源を取り入れたまちづくりを推進する旨定めている。都市計画区域に指定されていない周辺地域においても、中心市街地等と一体的な整備や地域間の連携を強化することで課題に対応し、バランスのとれた整備を進めることとする。
 [景観法]本歴史的風致維持向上計画の内容を反映した景観計画の策定等を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に、湯浅町都市計画マスタープラン(平成12年度策定)を、重伝建選定や有田圏域都市計画区域マスタープラン(和歌山県策定)、湯浅町歴史的風致維持向上計画との整合性を図り、歴史的景観の維持、良好な景観形成をまちづくりの目標に盛り込んで改訂した。伝建地区をはじめとした歴史的資産の景観整備を通じて観光振興を図ることなどを掲げた湯浅町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和元年度が最終年度であるため、計画の検証を行い、次期計画でも引き続き歴史的資産の景観整備を進めていく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
 湯浅町まち・ひと・しごと創生推進会議



湯浅町都市計画マスタープラン



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物に特定している歴史的建造物の保存修理とその他の建築物の修景による整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修復や修理を実施することにより、適切な保存を図ることができた。

令和元年度の実績

重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 ・建築物の修理・修景に対する補助 6件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

重要伝統的建造物群保存地区内における修理・修景に対する補助



修理物件



修理物件



外壁の漆喰塗り作業風景



修理方針の検討

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(公開活用)、地方創生推進交付金

計画に記載している内容 歴史的風致を活かしたまちづくりの拠点施設として必要な歴史的建造物を保存・整備し、重要伝統的建造物群保存地区の公開活用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重伝建地区内の元醤油醸造家の建物、旧栖原家住宅は、公開活用に向けて保存修理・整備工事を実施している。整備済の甚風呂や湯浅まちなみ交流館は、地元団体に指定管理者として管理運営を依頼し、地元住民と観光客との交流の場として、小学生等の教育の場として、公開活用を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
旧栖原家住宅の工事進捗状況



旧栖原家現況



痕跡や腐食状況を確認しながらの整備

指定管理により公開活用を行っている施設



甚風呂



湯浅まちなみ交流館

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
大仙堀環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独、地方創生推進交付金

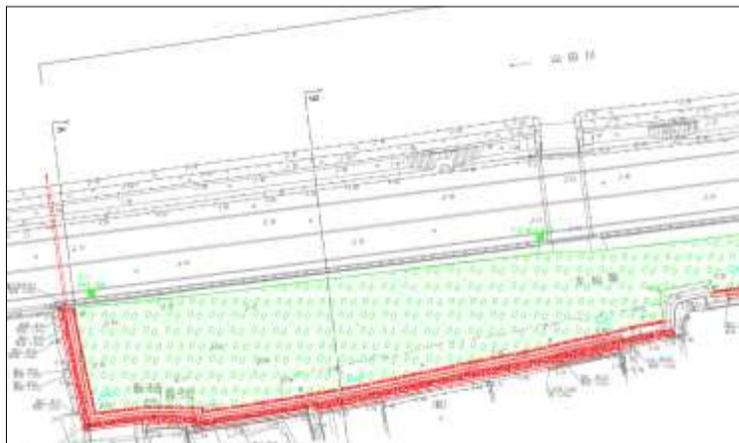
計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区の象徴である大仙堀の保存と水辺環境の整備を行い、住環境整備と観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

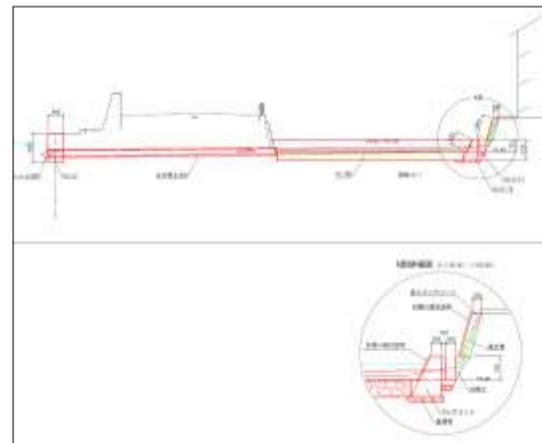
大仙堀への生活排水の流入を防ぎ水質悪化を軽減させるための排水流路改修を主目的とした整備工事の施工方法の検討及び測量を実施した。排水は堀の側面にめぐらせた溝を通して直接川に流す計画である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
大仙堀の現況写真



平面図(西半部)



断面図(西側)

大仙堀改修計画の基本計画 (詳細は調整中)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～、平成14年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容
 熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺の街路について、良好な市街地環境の保全整備と来訪者の周遊性を高めるために、復元、再生、町並みとの調和、歩行者の利便性など整備手法を十分検証し、美装化を進める。
 重要伝統的建造物群保存地区とその周辺や熊野古道において、良好な市街地環境にふさわしい街路灯などを整備し、歴史的景観の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

山田川の右岸を通る熊野古道の道路整備における概略設計を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

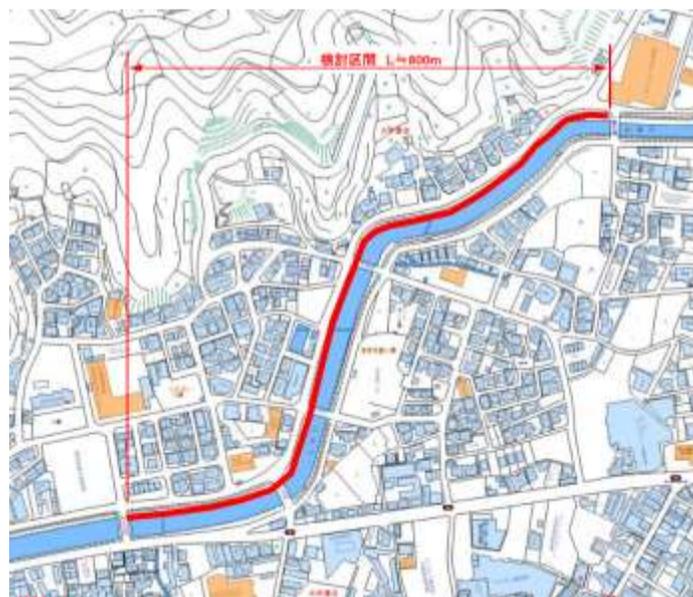
概略設計における道路整備イメージ



【現況】



【整備後】



整備検討区間 位置図

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容

熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺における案内板や主要な文化財などの説明板の多言語化・統一デザインを検討し設置するほか、来訪者の周遊性と利便性の向上のため必要な場所には、オープンスペースを活用した広場、駐車場、トイレなど、周遊性向上のための施設の整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国土交通省所管補助事業「歴史的風致活用国際観光支援事業」を活用し、観光案内板を作成、設置した。次年度においては、重点区域内の拠点施設(湯浅駅周辺)への案内板と、熊野古道の案内看板の整備を計画しており、様々な来訪者の受け入れ機能強化に繋がっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等
国道42号線沿いに設置した観光案内板

○看板(北側)デザインイメージ W7500×H2000



板面イメージ(国道側)

○看板(南側)デザインイメージ W7500×H2000



板面イメージ(線路側)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
防災施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(防災施設等)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区において、初期消火活動等に有効となる歴史的景観に配慮した防災設備を検討し、設置を進めるとともに、地域住民による防災訓練に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に、北浜町区において耐震性防火水槽(40トン)を設置し、消火用水源が確保しづらい市街地中央部における水源となった。令和元年度では、この防火水槽を使った住民の訓練を実施した。住民の自主防災組織による啓発活動等により、重伝建地区における防災意識の向上が図られている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

北浜町の防火水槽を使った訓練(令和元年6月2日実施)



北浜町に設置した耐震性防火水槽(40トン)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
湯浅駅周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 町単独事業、社会資本総合整備交付金事業(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 昭和2年(1927)開業当時の駅舎の文化財指定等による保存・整備をはじめ、町の玄関口である湯浅駅とその周辺において、歴史的な魅力の発信や観光客受入機能の強化を目的とした総合的な駅周辺整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

駅構内のバリアフリーとともに、図書館やまちおこしセンターなどの賑わいを創出する機能と災害時の避難場所など防災機能を兼ね備えた複合施設建設の工事が年度末に完了した。今後は、周辺の整備を行い、鉄道利用者の窓口として、また町内の南側の拠点施設として、町の賑わいや観光客の受入機能の強化を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

駅前複合施設



施設名は公募により「湯浅 えき蔵」に決定



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財等調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 町単独事業、埋蔵文化財発掘調査等事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 町内にある建造物、史跡、民俗文化財などの文化財の調査を実施し、学術的価値を確認すると共に、未指定文化財の指定等や、既指定等文化財の上位指定を進める。また、醍醐寺金堂の湯浅での所在地の研究や、歴史資源のリストアップとアーカイブ化を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

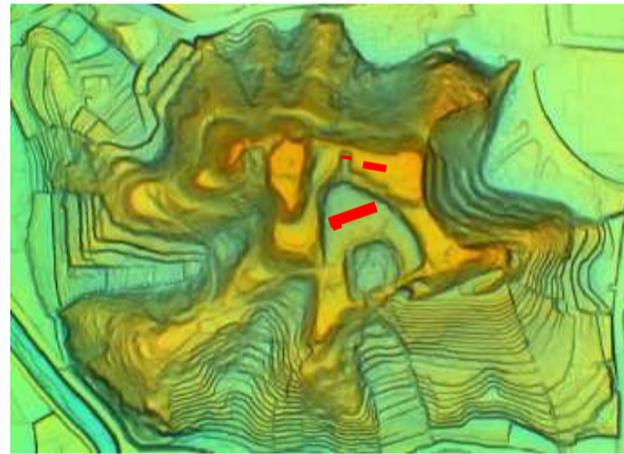
平成28年度より近隣市町との連携で進めている湯浅氏関連中世城郭調査は、昨年実施した湯浅城跡発掘調査の成果も踏まえ総合報告書を作成した。湯浅城跡は、「湯浅氏城館跡」として藤並館跡(有田川町)とともに国指定史跡のための意見具申を行っている。ほか、加納家(角長)をはじめとした醤油醸造関連の重要建造物調査や、栖原家旧蔵民俗資料、津浦家所蔵麴製造関連資料の民俗資料調査、製網業を営んでいた松宮家の文書調査(神奈川大学日本常民文化研究所調査)など、様々な調査が行われている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
湯浅城跡



湯浅城跡遠景



平成30年度 発掘トレンチ位置図



津浦家所蔵 麴製造関連資料



松宮家文書の調査(撮影)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
空き家利活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業、文化財建造物等を活用した地域活性化事業

計画に記載している内容 重点区域を中心とする町内の空き家において、まちづくりと連携した様々な活用提案の支援を行う。また、Uターン移住の希望者や農業・漁業の新規就労者の住まいなど、定住促進のための利活用の促進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に和歌山県のヘリテージマネージャー養成講習会の演習の舞台とした空き家について、所有者より伝統的建造物群保存制度による修理希望があり、次年度以降の事業化に向けて進めている。平成29年度に協定を結んだ一般社団法人ノオト・株式会社紀陽銀行との連携として古民家活用セミナーを実施し、古民家活用の方策を引き続き検討した。また、町内における空き家バンク制度や移住定住促進の取組みを進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



昨年度の講習会の様子

活用希望の空き家

湯浅町古民家活用セミナー
(平成30年10月5日開催 参加者数:33名)



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財公開等普及啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 本町固有の歴史的風致に関する文化財の公開・展示や講演会、ワークショップ、見学会の開催、パンフレット等の作成など、さまざまな形での情報発信や普及啓発のための取組みを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町民歴史講座として、地元郷土史家の垣内氏(元湯浅町教育委員会教育長)による「令和をむかえて～昭和から平成の歴史と湯浅～」を実施し、82名の参加を得た。第2回として計画していた「地中に眠る湯浅の歴史～青木Ⅰ遺跡発掘調査報告会～」は感染症予防のため開催できなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
町民歴史講座の開催



「令和をむかえて～昭和から平成の歴史と湯浅～」
令和元年5月29日



「地中に眠る湯浅の歴史～青木Ⅰ遺跡発掘調査報告会」
令和2年2月19日(中止)

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
伝統行事等継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～
支援事業名	町単独事業、文化遺産総合活用推進事業
計画に記載している内容	町内各所にある社寺等で継承されている祭礼などの伝統行事や民俗 芸能、町内に伝わる風習や食文化など、幅広い伝統文化を継承するための記録・用具等整備・後継者育成・情報発信など総合的な支援に取り組む。

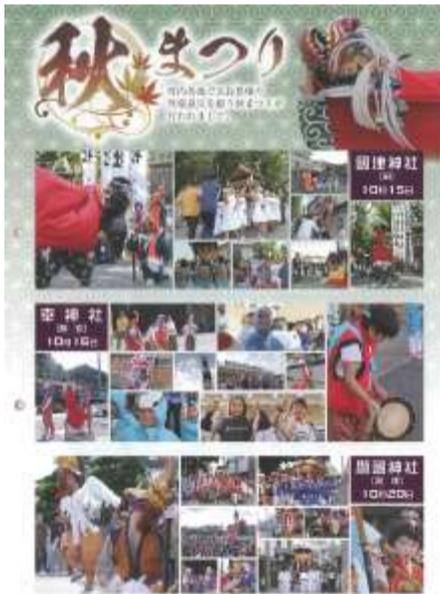
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統行事等を継承するため、町内で行われた秋祭りについて、町広報誌に掲載し、情報発信に努めた。平成29年度に修復した顯國神社御所車は、今年度の秋祭りでもと渡御行列に加わり荘厳な雰囲気となった。また、古くから伝わるシロウオ漁を継承していく取り組みも行われた。(例年実施しているシロウオまつりは感染症対策のため中止)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

秋の祭礼



広報ゆあさ11月号での秋祭り記事



顯國神社秋祭りの様子

シロウオ漁の様子



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
特産物等PR総合支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成14年度～

支援事業名 地方創生推進交付金事業、日本遺産魅力発信推進事業、地方創生拠点整備交付金事業

計画に記載している内容
 醤油・金山寺味噌、シラスをはじめとする水産物、柑橘類などのPRや情報発信において、歴史的価値付けをプラスし、地域ブランドの確立を目指してPR等を推進する。同じく、特産物を生産する歴史的環境保全のため、湯浅湾とその周辺に広がる段々畑の歴史的景観の保全整備等に努め、担い手育成など生産事業者に対する支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

特産物流通物販センターは「湯浅美味いもん蔵」として、地元産品の土産物販売所と、地元の素材にこだわった食事処として運用している。また、日本遺産事業や観光事業において、全国で開催されるイベントに出展し、醤油や金山寺味噌、みかん、しらす等の特産物をPRした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
 湯浅町特産物流通物販センター「湯浅美味いもん蔵」



全国各地でのPR



11月26日～30日 名古屋・金山駅
 ふるさとフェアin金山 ～全国センター合同物産観光展～



2月11日～13日 東京・有楽町
 日本遺産PRイベント

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の現状と今後の方針	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 指定等文化財については、文化財保護法や関係法令に基づいて適切な保護措置を講じる。未指定文化財については、現状把握を行い文化財的価値を調査し、必要な措置を講じる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

域内の文化財を総合的に把握し、地域としての文化財の保存と活用を進めるための文化財保存活用地域計画の策定に着手している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

湯浅町(未指定文化遺産)

整理NO.	指定等の区分	種別	指定選定年月日	名称	員数	寸法・重量 /高さその他大きさ	所在地	所有者の所在住所	所有者氏名・名称 [8P]	管理者・管理団体の所在住所
■田										
1	未指定	有形文化財・建築物		國津神社 本殿・拝殿・祝詞殿						
2	未指定	有形文化財・美術工芸品		國津神社文書	7通					
3	未指定	有形文化財・美術工芸品		寶物古文書什器臺帳						
4	未指定	記念物・天然記念物		真柏 あこうの木						
5	未指定	民俗文化財・無形民俗文化財		國津神社の山車(だんじり)						
6	未指定	民俗文化財・無形民俗文化財		文政の幟箱(里若連中)						
8	未指定	有形文化財・美術工芸品		鰐口	1口					
9	未指定	有形文化財・美術工芸品		木造阿彌陀如来及び両脇侍立像	3躯					
■栴原										
1	指定も未指定も含む	有形文化財・美術工芸品		施無畏寺文書	101件					
2	未指定	有形文化財・美術工芸品		虚空像菩薩画像	1幅					
3	未指定			施無畏寺 立石	1基					
4	未指定	有形文化財・美術工芸品		八所遺跡由緒記						

整備中の未指定文化財リスト

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存修理等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の保存修理が必要な場合は、詳細な調査を行うと同時に、文化財の価値の所在を明らかにし、適切な文化財の価値の維持を図りつつ、計画的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定等文化財の修理等にかかる補助制度として、平成30年度に湯浅町文化財補助金交付要綱を策定した。令和元年度は、文化財に関する修理要望が複数寄せられており、国・県との連携、所有者との調整、未指定文化財の場合は文化財の価値付けの作業等を文化財保護審議会と連携して進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理要望のある施無畏寺鎮守社(和歌山県指定文化財)



相談の寄せられている未指定文化財(菊池海荘屋敷跡)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の防災・防犯		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

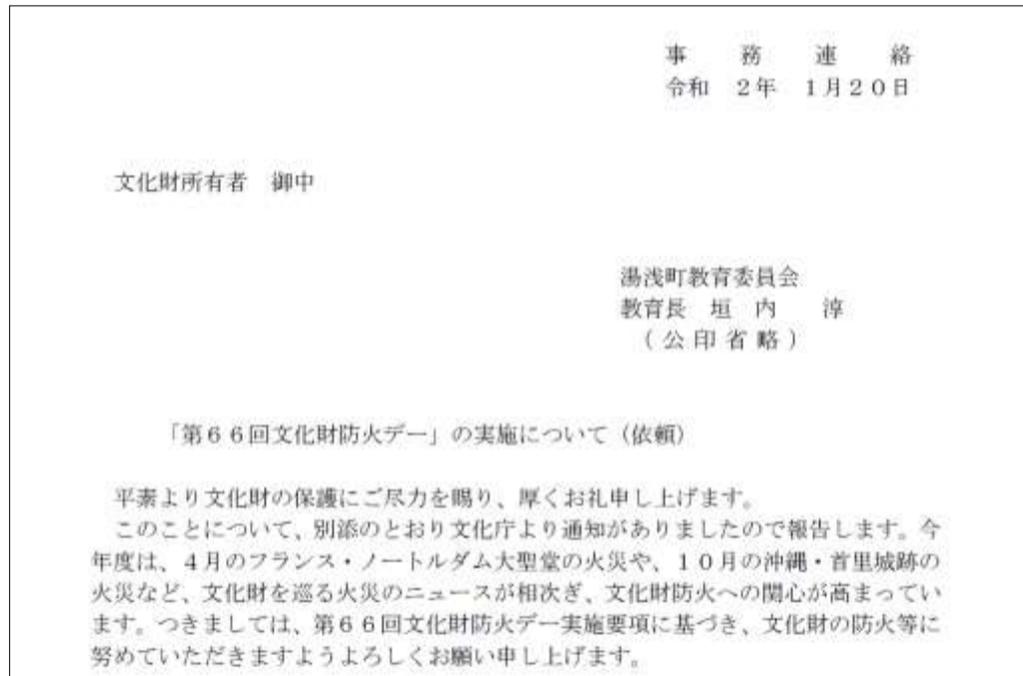
計画に記載している内容 防災については、湯浅広川消防組合や消防団と連携し、定期的な巡回・点検や防災訓練の実施などを通じて、日常の防災意識の向上を促進する。防犯については、警察署などと連携し、対策を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1月26日の文化財防火デーにあわせ、本年度は首里城跡の火災など文化財の大規模な火災が世界的に多くあったことを踏まえて、文化財の所有者に対し文化財防火に対する注意喚起を行った。また、文化財の防災・防犯の設備整備状況について、現状把握に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



文化財防火デーに際して発出した通知文



防火施設の設置状況の把握(施無畏寺)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
埋蔵文化財の取扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財部局と開発部局が緊密に連携するとともに、和歌山県教育委員会や(公財)和歌山県文化財センターなどの関係機関とも連携を図って、適切な記録保存や調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度まで、埋蔵文化財専門職員が不在であったが、本年度は専門職員を正職員として採用し、湯浅町単独での埋蔵文化財行政が可能となった。本年度は、和歌山県教育委員会や(公財)和歌山県文化財センターの協力を得て、工事立会3件、本発掘調査1件を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



工事立会の様子 (湯浅屋敷跡 浄化槽埋設に伴う)



本発掘調査の実施(青木 I 遺跡 こども園建設に伴う)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
しょっぱさ 甘さ引き立つ 蔵カフェ「醤油ソフトクリーム」	令和元年5月13日	朝日新聞
電子雑誌で湯浅町特集「懐かしい」景観やグルメ紹介	令和元年5月14日	産経新聞
日本遺産の楽しみ方	令和元年6月15日	聖教新聞
手作りの光 軒先彩る	令和元年9月18日	毎日新聞
青春 フィルムに重ねて 広川の高校生、湯浅で「全力少女展」	令和元年12月12日	朝日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

日本遺産の認定を受けて報道される機会が増加し、報道以外でもテレビ番組での紹介や雑誌等への掲載が増え、様々な機会に湯浅が情報発信されており、湯浅町＝醤油の町の認知度が高まっていると感じられる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等
6月15日(土) 聖教新聞
「日本遺産の楽しみ方」



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目

観光事業の推進

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成29年度に認定された日本遺産は、3年度目を迎え、観光客の増加に一定の影響を与えている。また、ツーリズムエキスポへの出展や、地上波にて4回放送された「湯浅んぼ」という湯浅町の観光PR番組、湯浅観光まちづくり推進機構のSNSの英語化事業など、様々な観光事業が推進されている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



ツーリズムエキスポへの出展



「湯浅んぼ」の放映
11/30(土)、12/7(土)、12/14(土)、12/21(土)

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和元年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
<p>コメントが出された会議等の名称： 令和元年度 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会</p> <p>会議等の開催日時：令和2年3月3日（火） 13時30分～</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆街路灯の更新に際し、伝建地区内において電球色と白色のものが混在している。電球色で統一されたい。 ◆道路美装化の際、ガードレールを木製にする等の景観への配慮を。 ◆大仙堀の整備について、埋蔵されている文化財があるかもしれないので、十分に配慮して進めてほしい。 ◆大仙堀景観整備だけではなく、石積みの補強、地盤の強化を速やかに進められたい。その際、構造や河川などの多方面の専門家の参画が必要になってくると思慮されるため、早急に検討を進められたい。 ◆勝楽寺や施無畏寺など、埋蔵文化財包蔵地として周知されていない部分も含めて、適切に調査を進められたい。 ◆国登録文化財となっている栖原角兵衛屋敷について、傷みが進んでいると見受けられる。史跡等も含めた指定化など、手立てを検討されたい。 ◆県内で散見される仏像等の盗難の対策として、無住の社寺等の文化財調査をしっかりと行うべき。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆街路灯、道路美装化等、設置担当部署と連携して景観に配慮したものとするよう努める。 ◆大仙堀は長年の懸案であった。せつかく手を加えることになるのであれば、歴史的・文化財的なことの新知見を得ることができるように進めていく。 ◆景観整備は大仙堀に関する整備の最終地点ではなく、引き続き石積みの補強等の懸案も解決しないといけないと理解している。様々な補助・支援メニューがある中での選択、懸案事項への専門家の助言、県等との協議等、引き続き取り組んでいく。 ◆今年度より埋蔵文化財専門職員が採用された。埋蔵文化財分野だけでなく、文化財行政を進めていく体制が整いつつある。様々な調査を現在も進めているが、何が必要な措置で、何がどう価値のある文化財といえるのか、を整理して進めていく。 	